

新川崎地区新設小学校基本計画検討委員会  
 ゼロエネルギー化推進・防災機能向上 WG  
 第三回議事録（案）

1. 日時 11月25日（月） 9:30～11:30

2. 場所 第4庁舎第2会議室

3. 配布資料

資料 3-1 第二回ゼロエネ・防災 WG 議事録（案）

資料 3-2 設計・運用段階におけるエネルギー管理の進め方（案）

資料 3-3 ゼロエネルギーの実現可能性検討ケーススタディ

資料 3-4 環境教育の考え方

資料 3-5 新川崎地区新設小学校における防災機能

資料 3-6 基本計画案（ゼロエネ・防災関連部分）

4. 討議内容

1) 前回議事録の確認（資料 3-1）

・第二回 WG の議事録案の確認を行った。

→小学校における省エネ法上の届け出は教育庁が一括で管理している（事務局）。

2) 設計・運用段階のエネルギー管理について（資料 3-2）

・エネルギー管理の進め方に関する案について、事務局より説明を行った。

（意見）

・実施設計段階で外部専門家がいなくなる表現となっているが、基本設計段階と同様に表現しておいてもよいと思われる。

・温度・湿度・照度等については、学校にて小型で可搬型の計測機を購入するとなっているが、そのような担保は必ず保障されないため、新築工事の中で設置することが望ましい。

3) ゼロエネルギーの実現可能性検討（資料 3-3）

・事務局より試算検討の方針について説明を行った。

・前回までの資料では、架空のモデル小学校を対象とした検討を行う予定であったが、近年に竣工した小学校の建築計画の従来との相違や、エネルギー消費量の増加傾向を十分に勘案する必要があるため、具体的な参考小学校プランを用いて、試算を行う方針とする（事務局）。

4) 環境教育について（資料 3-4）

・事務局より環境教育の方針について説明を行った。

（意見）

・ゼロエネルギーモニターの設置の案は結構であると思われるが、ゼロでない時間帯も当然ある。発電量の気象条件の季節や気候に応じた変動や、エネルギー消費量の季節の違いを

理解し、教育活動に生かすことができれば良い。

- ・前月、前年との差分等、経緯や変化がわかる見え方があるとよい。
- ・見える化の学習への活用などを行うためには、本校に対して理科専科を配置するなど的人材配置面での担保も必要である。

#### 5) 防災機能について

- ・新設校における防災機能について事務局から、地震時の被害想定や避難所に関する調査報告について総務局より説明を行った。

(意見)

- ・雨水やプール水の災害時中水利用の話があるが、消防用水との関係について整理する必要がある。
- ・消防用のポンプ等への蓄電池は3時間分であるが、建物側が災害後も三日間は使用し続ける想定であるため、考え方の整理が必要かもしれない。
- ・避難者数の想定自体が新しいものであり、それを加味した個別の検討の考え方についてはこれからである。

#### 6) 基本計画目次案について

- ・基本計画の目次案を説明した。検討委員会では主にこの項目にそって、各資料の補足説明を行う形で説明する。

#### 7) その他

- ・本WGは今回で終了のため、まだ残っている一部の検討については関係部局で個別に調整し、最終的には座長一任とさせていただく。(事務局)

以上